



教皇様の敵

Libreria Editrice Vaticana, Città del Vaticanoの転載許可済 © 1992 発行所 財団法人 精道教育促進協会 〒659 兵庫県芦屋市船戸町12-6 TEL 0797-31-3452 FAX 0797-31-3448

偉大であり みじめである人間

1 今日の水曜日から四旬節が始まり、一歩一歩復活のお祝いに向かって進みます。灰の水曜日という名は、灰を額につける厳粛で意味深い儀式を行うことに由来しています。

昔のイスラエルの人々にとって、頭に灰を振りかけることは、自分の弱さと、神の強力な助けへの信頼を表すことでした。(ユディット四・十一、1マカバイ三・四七参照) 旧約の民の後継者であり、新しい神の民である教会にとって、この儀式は、私たちが自らの弱さと罪深さを認めること、そして天の御父の赦しと慈悲を必要としていることの外的なしるしです。

2 これこそ一見逆説と思える人間の条件です。パスカルはキリスト教の観点から人間を、「偉大であり、惨めである」と定義づけています。確かに私たちのうちに神のかたどりの見ることはできません。しかし、不幸にもこのかたどりは罪によってゆがめられました。私たちのうちにある神のかたどりを回復し、新たにし、救

うことが、キリストの贖いのみわざの意味であり、キリスト信者に課せられた仕事です。これが四旬節の意味でもあるのです。四旬節は内的清め、イエズスが言われた「心の清めの時です。思い、意向、意志、感情、望み、情熱、つまり全ての内的世界が清められれば、外に表れる態度は誠実なものとなり、イエズスが厳しく諫められた「人間的栄光」を望む心、偽善的行為は生れなくなるでしょう。私たちキリスト信者は、真のキリスト信者になることよりも、キリスト信者に見えるようにふるまう傾向があります。神よりも人間を喜ばせるほうを好み、この世のイデオロギーとか流行に流されがちです。師なる神が仰せられたように、人々が私たちを注目するのではなく、私たちが通して神を発見し、神に至るようという意向をもって「人の前で」マテオ五・十六「よい行いをし、あらゆる手段を尽して私たちの証しを信じようもの、魅力あるものにしなればなりません。そのためには、主の従順な道具になる努力が必要で

3 四旬節とは、私たちの生活の中で神、超自然的存在、恩寵の命を第一にせよという呼びかけです。いかに高貴で賞賛されようとも、被造物を創造主と同じところにならべることはできません。被造物が創造主の代りをすべきではないし、創造主より優先されるべきではありません。四旬節は私たちの内にある神のかたどりを回復し、新たにする時。心の清めの時です。四旬節は私たちの生活の中で神、超自然の世界、恩寵の命を第一にせよとの呼びかけです。この四旬節を真に実り豊かなものとするために、自らに問いかけてみてくださいます。私たちは首尾一貫したキリスト者として振舞っているのでしょうか。全てにおいて神を第一とし、神の栄光を求めているのでしょうか。

4 四旬節は、堅実に歩み、その道に堅忍し、内的秩序を持つよう招きます。神が第一の場所を占めていなければなりません。天地万物のなかで最も高貴な位置を占める人間でも、神の次です。とにかく、この順序を守って初めて、人間は賞揚されます。人間は神に仕えるときにのみ偉大なのです。神と同等であることを望み、自分の考えから神を排除せんと望むなら、自らの存在を否定することになります。なぜならそれは、自らの完全性と存在そのものである普遍的源から離れてしまうことだからです。枝が幹から切り離されて生きていくことができるでしょうか。神に全てを委ねない人、神を生活の中から排除する人は、自

分の権利を主張したと考えているかもしれないが、実は霊的な死を宣告されているのです。それは、神を侮辱し、人間も含めてすべてのものの絶対的な第一位に神を置くことを拒み、自らを高めようとするイデオロギーが生み出した結果を見れば明らかです。

5 今日から始まった悔悛の時機会にしたいと思えます。私たちは神の栄光を求める代りに、人間の栄光に執着しているのではないだろうか？ すべてにおいて神を第一にすることを忘れ、この世のものに執着しているのではないだろうか？ 厳しくても救いをもたらす福音と教会の教えよりも、この世の魅力的なイデオロギーに心を奪われているのではないだろうか？ 私は首尾一貫したキリスト信者だろうか、それとも唯一の神のほかに「別の神」を心に抱いているのではないだろうか？ あらゆる価値の頂点に神をおいているだろうか、それとも神に反する行いをしているのではないだろうか？

四旬節の初めにあたって、このように良心に問いかけてみてください。そうすれば私たちの旅は外的な行いだけのものではなく、実り豊かなものとなるでしょう。熱心にキリスト信者としての生活を送り、心から主に奉獻する約束を新たにしましょう。私たちが失望することは決してないでしょう。

(一九八九年の灰の水曜日)

フミシラ旅行拾い読み

(ご聖体について話され、その結果としての使徒職について)

「物惜しみせずに、寛大な心で神の御言葉を広め、人々にキリストを知らせ、人々がキリストを知ってキリストを信じるようにしなければなりません。」

(社会問題に触れて)

「それは、教会の教導職と歩みを共にしないある種の解放の神学の誘惑に負けず、カトリックの社会教説を基礎にする度合と比例して本物になります。」

(経済問題に触れて)

「一国の対外債務を、国民に空腹や惨めさを強いることによって支払うようなことをすべきではありません。(…)第三世界の後進性を助長するような資本主義の悪辣な諸機構を認めるわけにはいきません。」

(聖職者中心主義の危険に触れて)

「あるところでは、第二バチカン公会議の解釈を誤った結果、司祭職の本質をあやふやにし、司祭の仕事が世俗化すると同時に、信徒の聖職化が見られますが、これは

避けなければなりません。」

(正義に関して)

「重要で必要な私有財産は、すべての人のために役立てるためのものであって、この目的を邪魔するような使い方は認められません。(…)土地所有も、それが人々の働きを疎外するとなれば、正義に反することになります。(…)もちろん、正義と言いつ、共通善と言いつても、他人の所有になるものにはいかなる理由があるとはいえず、害を与えたり侵害したりすることは許されません。」

(青年たちとの集いについて)

「この世には神の子という民族しか存在しない」と言われた後で、「麻薬やアルコールや利己主義に身を隠そうとする人々に対して、純潔と貞潔、喜んで実行する犠牲、仕える精神、キリスト教的愛徳の証人となってください。」

(ハンセン病患者二百五十人に囲まれて)

「人生の途上に現れるどのような情況も、神の御旨を伝え、私たちが愛と献身という応えを要求し

ます。(…)人間の生涯は孤立した生涯ではありません。どの人の人生も他の人の人生に結び付いています。人間はひとりとしてばらばらの詩句ではありません。私たちはみな、神が人間の自由と協力して書かれる神聖な詩の一行なのです。」

(飛行場での御ミサの中で)

「離婚・避妊薬・避妊器具の使用、墮胎に賛成するようなキャンペーンには抵抗してください。」

(病人の世話について)

「それは、時に言われるように自己を疎外することではなく、かえって

て神と一層親しくなることです。」

(人間の福祉促進の重要性について話されたとき)

「しかし万一、人間の福祉促進への努力が、福音の教えとはあいにれぬ神学的原理に、教会本来の目的を歪めるほど、包みたり拘束されたりすれば、それこそ嘆かわしく、また有害です。」

(民主主義と教会について)

「教会の起源は秘跡的ですから、教会の権威の源は神です。従って教会の権威は神以外の何者からも承認される必要がありません。」

《ラテン・アメリカ福音宣教五百年》

アメリカ巡礼 ①

◆ ラテン・アメリカにイエズス・キリストのメッセージが伝わって、今年で五百年になります。私たちキリスト信者は、福音宣教を新たに推し進めることによつて、この大きな出来事を祝いたいと思います。

◆ 広大なアメリカ大陸の各地では各教会が第四回ラテン・アメリカ司教会議の準備中です。神のお助けにより、十一月十日にサン・ドミンゴで私たちが開会を宣言することになっていますが、奇しく

もその日は、五百年前にクリストファー・コロンブスの船が新大陸へキリストの十字架をもたらした、同じ日に当たっています。

◆ 教会はこの五百年記念を、少し議論の余地がある歴史上の事件として祝うのではなく、永久的な現実であつて、過小評価することはできません。アメリカ大陸に信仰がもたらされ、福音のメッセ

ジが広がったのです。教会は言葉の最も深い、神学的な意味で祝い

「教皇様の声」に掲載されたカテケージスのシリーズのうち「信仰と神」「創造」「天使の創造」「神の摂理」の別売を致します。上記4シリーズを合わせると、A5判で九〇頁になります。コピーしたもののしか提供できませんが、送料とも千円です。どうぞご利用ください。

「声」編集部

説教・講話・書簡等の抄訳

「十字架の道行」(第三版)
エスクリバー師の、主の御受難の場面観想より生れた書。黙想のしおりとして七十の考察を加えてある。
定価二二〇〇円 送料三〇〇円(カセット・テープ一巻 定価二二〇〇円 送料三〇〇円) ●著者、尊者エスクリバー師は、今年五月十七日に列福されることになってい

ます。歴史の主、人類の運命の主であるイエズス・キリストを祝うように。「最初で第一の福音の使者」であるキリスト御自身が、「神の福音」です。(エバンジェリイ・ヌンツィアンデー、七番)

ホセマリア・エスクリバー著 精道教育促進協会スタッフ訳
今年五月十七日に列福されることになってい

神の生命を生きる

教会シリーズ②(続き)

◆ アメリカでの過去五百年の教会発展をふり返ってみると、福音化は司教座聖堂や教会、礼拝堂での説教、要理教育、慈善事業、社会活動から始まり、数多くの偉大な司教・司祭と勇敢な宣教師たちを通じてキリストのメッセージを伝え広めるための中心となっていたことがわかります。

各地の教会堂での礼拝を通して、ラテン・アメリカの人々に特有の敬虔さと霊性が育ちました。今日でも教会は、ラテン・アメリカの人々にとって信仰と希望の源です。同じことは普通の教会についても言えるはずで

そこで、新世界への福音宣教五百年目にあたる今年には、お告げの祈りの時間を利用して、アメリカの主要な聖堂や聖地への霊的巡礼をしたいと思えます。それらの場所の多くへは、私自身各国訪問の際に訪れたことがあります。そのことを思い出しながら、救い主キリストと、最初の、そして新たな福音宣教の星である聖母マリアに願います。この一年の間に、ラテン・アメリカと全世界でさらなる平和と正義が確立し、真の愛の文明が生れますように。
(九二・一・五、聖ペトロ広場でお告げの祈りの時間のお説教)

1 (前回までお話しした「教会」という言葉の)こうした進歩的發展は、初期キリスト教共同体内で、キリストの言葉の斬新さが(この岩の上に私の教会を建てよう)マテオ十六・十六)次第に明らかになっていったことを証明しています。イザヤの預言の言葉が、今や新しい意味と深遠さをもって、この教会に当てはめられます。「恐れるな。私はおまえをあがなひ、名を呼んだ。おまえは私のものである。」(イザヤ四三・一) このような神からのお召しは、肉となられた御子イエズス・キリストのみわざです。キリストは御自身の教会を「新しい契約のもとに、全ての人を集めるもの」としてお建てになりました。教会のために目に見える土台を選び、教会を治める権能をお与えになりました。したがって、教会はキリストに属し、つねにキリストのもとに留まります。これが初期キリスト教共同体の信条であり、キリストの教会への信仰です。

2 新約聖書の本文に拠って、用語学と概念の面から分析を続けてきましたが、教会という言葉の意味内容についての結論が出てきたようです。今まで考察してきたことを、以下にまとめてみ

3 この呼びかけの目的は、神との一致(交わり)への招きです。(一ヨハネ一・三参照)一致に達するための第一歩は、教会に授けられた神の御言葉に耳を傾け、それを読み、聖霊がお送り

4 呼び集められた人々の目的地は終末に関するものです。新しい人々は完全に天の国を志向しているからです。初代キリスト教徒が知り、感じていたように「私たちはここに不変の都をもたず、未来の都を探している。」(ヘブライ十三・十四)「私たちの国籍は天にあり、そこから来られる救世主イエズス・キリストを待っている。」(フィリッピ三・二〇)イエズスが教会にお与えになった名についての考察は、私たちを超越的・超自然的な頂点へと導いてくれます。新しい神の民の共同体という秘義、聖徒の交わりという絆によって、福音の示す道をたどってキリストにつき従う地上の信仰者たちと、練獄で清めを受ける靈魂たちをも含めた共同体の秘義。これらすべてについては、次回以降のカテケシスでお話ししましょう。(九一・七・二〇)

小事は大事



「喜んで与える人は幸いです。ある。」

神学生の皆さん、詩篇のこの言葉は皆さんのために言われているのです。「喜んで与える人は幸いです。」

主は皆さんにも、また全ての人間にも同じように語りかけておられ

ます。なぜならこの言葉は、普遍的な妥当性を持つ真理を表しているからです。そこにはキリスト教人間学全体の要約が、簡潔に述べられています。

公会議は、人間が「そのもの自体のために神が望んだ地上における唯一の被造物」であると教えま

不変の教え

す。同時に、神が他のあらゆる被造物からこのように区別なさったこの人間は、「自分自身を無欲の気持で与えなければ、完全に自分自身を見い出せない」(現代世界憲章、二四)と言っています。

自分自身を無欲で与える…この言葉は全ての人に向けられているとは言え、神学生の皆さんには特別な意味を持っています。これこそは、職位的司祭職への召し出しの本質的な意味なのです。自分自身を与える。喜んで与える人は、幸いである！これは、本日の典礼で特に皆さん方に向けられた、詩篇作者からのメッセージです。

ルカの福音書が伝える第二のメッセージも同様です。忠実について述べています。「小事に忠実な者は大事にも忠実な者である」(ルカ十六・十)

忠実であるとは、「喜んで与える」と同じことです。このような忠実さはとても重要なもので、何物にも代えられません。小事への忠実さは、キリスト信者の生活全般において大切です。人間全体についても、大切な特徴となっています。

神学校においては、特別な意味で重要とも言えます。二つとも、神学生が小事への忠実という面から自己を料明すべき点なのです。「小さな事柄」にはそれ自身の重要さがあります。真の心の広さは小事によっても確かめられます。実に小事への忠実さは愛と謙遜のしるしです。心の広さは、まず第

一にこの二つの基礎、愛と謙遜に基づいています。

このような内的偉大さを各人が身につけなければなりません。さもなければ大事、「大きな事柄」を受けとめ、保ち、果すことなどできないでしょう。司祭職は大きな事柄です。「キリストのペルソナにおいて」行う奉仕ですから。皆さんはそのためにこそ、準備しておられるのです。

本日の典礼のもう一つの朗読箇所も注目しします。聖パウロの言葉です。「私を強めなさい、私にはすべてが

黙想のしおり

救しの秘跡
心は改心の行われる中核です。神は、人間の側からの改心を人間自身のために望まれます。(八二)

洗礼の秘跡を受けたあとで大罪を犯した人にとって、赦しはどうしても必要な秘跡です。この秘跡は贖い主から出る義をもって人間を満たす手段です。(人間の贖い主、二〇番)

司祭は皆の話に耳を傾けるだけでなく、疑問に答えることもできる。人間の弱さを認める神の答え

できる。「フィリップ四・十二 私たちはみな、つねに自分の弱さと戦っています。弱さと言ってもいろいろあります。なかでも危いのは、現世的な見方をすれば成功と賞賛をもたらすかに見える種類の弱さです。

神学校で、あるいは他の教育機関で、福音の光に照らして見れば、何が弱さなのか、真に良いもの、悪いものは何かを見分けなければなりません。自分自身を厳しく判断しなければなりません。ただし、がっかりしてはなりません。「私にはすべてができる」と使

を与えることができる。これが神の赦し、赦しの秘跡で与えられるのと同じです。この赦しを求めて司祭のもとへ行っていますか。(八九)

赦しの秘跡で赦しを得た結果として最も重要なのは神との和解です。(…)神との和解はもう少し広い意味での和解への道を開きま

罪を赦された人は心の奥底で自分自身と和解し、本来の姿を取り戻します。さらに、何らかの形で攻撃し、傷つけてしまった兄弟たち、

徒は書きました。私たちとキリストとの親しい間柄は、この真理に根ざしているべきです。キリストにおいて、すべてができる！

この真理が、召し出しに伴うすべての困難のただ中で、皆さんの内に育ちますように。前回の司教会議で出された貴重な勧告をよく活用することで、皆さんは自分自身を内的に刷新し、地上の旅路の辛い歩みを続けなければなりません。全力を上げて、意気込みも新たに、召し出しを生き抜いてください。勉学を愛し、喜んで規律を守り、そして何よりも祈ること。

教会、ひいては全被造界と和解することになるのです。(和解と悔悛)

御聖体

聖体の秘跡を通して、主はいつも私たちのところへ来てくださいます。私たちは孤児ではありません。主が共におられるのだから。(六八)

苦しむ人に
苦しみは救いと聖化に必要な道です。聖人になるには、あれこれの賜物に欠けていても適性に欠けていてもよいのですが、苦しみを免除されることはありません。苦しみは聖性に必要な要素です。(一一〇)

「教皇様の声」ヨハネ・パウロ二世教皇の説教、書簡、講話等を解説なしにそのまま伝える月刊紙 毎月十日発行 定価 一部八十円 送料実費 一年予約九百円 送料六百元 二十部以上一括購入なら送料不要

主との友情を体験するために、たくさん折ってください。主は特別な愛で皆さんを愛し、呼んでくださったのです。この神学校の中庭に御像がありますが、無原罪の聖母が皆さんの模範となりますように。

聖体祭儀を祝いつつ、キリストが皆さんのために霊的な力の源となつてくださるよう祈りましょう。そうして皆さんが、神の国のために物惜しみせず仕える真の協力者となることができますように。(九一・十一・十、ナボリの大神学校での御ミサで)

ミサに与る毎に、主の死と復活を祝い、より一層深くイエズスを知ることができます。日曜日にミサに与る義務をしっかりと心に刻みつけましょう。日曜日に可能なイエズス・キリストとの出会いを無視するならば、信仰を深める機会を逃すこととなります。(七二)

家族
世界中のあらゆる家族のために祈りましょう。全ての家族が、ナザレトの聖家族のように、自らの召し出しに応えることができますように。(六九)

夫婦間の愛は神がお恵みになるすばらしく、美しい贈り物です。ですから、互いに責任を持たなければなりません。(七二)

「教皇様の声」ヨハネ・パウロ二世教皇の説教、書簡、講話等を解説なしにそのまま伝える月刊紙 毎月十日発行 定価 一部八十円 送料実費 一年予約九百円 送料六百元 二十部以上一括購入なら送料不要

郵便振替 神戸 3-72393